

# 福井県あわら市立芦原中学校

## 心地よさを実現。 安心した学校生活のため、 より落ち着いたトイレ空間を演出。

芦原中学校は、築40年となる校舎の耐震化工事とともに生徒やPTAが待ち望んでいたトイレ改修を含めた大規模改修を行った。トイレ完成後、木下賀之建築設計事務所の梶常務取締役は、生徒が初めてトイレを使った時はとても驚いたでしょう、と語る。

「心地よさ」を表現したトイレは、訪問してみると、木目の香りと落ち着いた色調から安心感がほのほの伝わってくる。中学校のトイレもここまで進化するという驚きと実感があるが、設備は至ってシンプルでエコ視点



でもとても工夫されている。

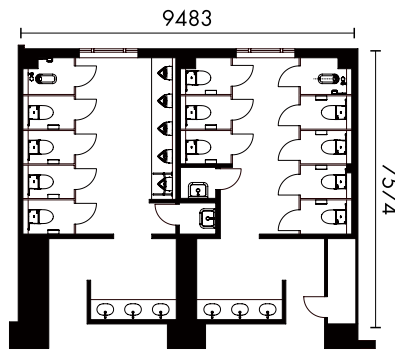
梶氏には「心地よさ」を実現させるための具体的なファクターをあげていただいた。

- ① きれい／② 素敵／③ 優しい
- ④ 安心感／⑤ 省エネ／⑥ 集える
- ①～⑤までの実現が⑥につながるっていくという。トイレも含めた学校全体の環境向上は、このように実現されるのだ。

きれいを表現するために清掃方式は湿式から乾式に切り替えを行った。それから、中学生と小学生とを考えた。小学校とは違った大人に近づけた落ち着いた空間演出。男女トイレの入り口を離したり、防音対策をとるなど、細やかな配慮を施した。また、トイレ内の人感センサーの照明は最小限に抑え、空間全体を照らせるよう工夫が凝らされている。仲間という時の暖かさや温もりは、新しい時代にふさわしく豊かで安心した学校生活を送ってもらいたいというメッセージにつながっている。



- 【芦原中学校】
- 竣工年月/2011年3月
  - 所在地/福井県あわら市舟津 2-75
  - 生徒数/男子190名、女子165名
  - 施主/福井県あわら市
  - 設計/  
株式会社 木下賀之建築設計事務所
  - 設備/有限会社 環境システム設計
  - 敷地面積:43,886㎡
  - 延床面積:8,842㎡
  - 構造規模:RC造一部S造 地上3階



1. 階段スペースはガラス貼りで外光が降り注ぐ。右手に見えるのは、照明の落ち着いた手洗い場。生徒は、冬期校舎内をランニングしている。
- 2.3. 木のぬくもりを感じさせるトイレ入り口。
4. 小便器は、自動洗浄小便器を採用。便器に近づきやすいよう足元にも工夫。
5. 1ブースのみ和式便器を残したが、洗浄レバーが壊されやすいため、ノンタッチの自動洗浄にした。
6. 落ち着いた照明の3連の洗面カウンター。水栓はもちろん自動。生徒が集えるよう配慮。
7. 4.8Lで洗浄できる節水型のウォシュレット一体形便器 GG の採用で生徒に家庭的な使用感を。

